



# 温故知新

千葉を知る

## 二十九、オリンピックがやってきた!

7月23日から9月5日まで東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、千葉市では幕張メッセを会場に、オリンピック3競技、パラリンピック4競技が行われました。



前回の東京オリンピック・パラリンピックは1964年に開催され、東京大学検見川総合運動場で近代五種競技のクロスカントリーが行われました。高度成長期のさなか、会場と国道を結ぶ市道を舗装し、花壇を設けて美観にも気を配りつつ選手や関係者を迎えました。当時の市政だよりによると「美しい環境でオリンピックを迎えましょう」とのスローガンが掲げられるなど、全市一丸となってオリンピックに臨む姿勢がうかがえます。

クロスカントリーの当日は、メダリストが決まる最終種目の日だったこともあり、会場のスタンドは満員、沿道にも小・中学生が集まるなど約6,000人が観戦し大いに盛り上がりました。競技終了後、運動場体育館で各国の選手や報道陣を招き歓迎レセプションが行われました。訪れた人々をおもてなしするため、この地で大賀一郎博士が発掘・開花させたオオガハスに光を当て、オオガハスの絵葉書や実3粒、英文による発芽の説明書きが配布されました。



レセプションで配布された封筒

同年の千葉市5大ニュースの一つとして「人口30万人突破」「加曽利貝塚の発掘調査」などとともに、「オリンピック聖火市内リレーと検見川で近代五種が行われる」が取り上げられるなど、市民の記憶に残る大会となりました。

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476



学芸員が選ぶ

# 今月のイッピン

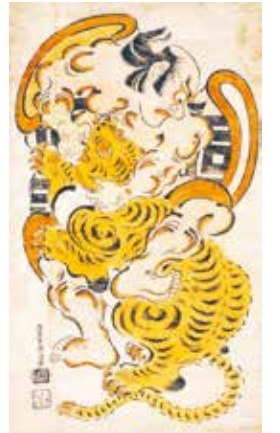
2020年  
パネルにアクリル絵具

## 福田美蘭 《二代目市川團十郎の虎退治》

浮世絵っぽいけど何か変!? 現代美術作家の福田美蘭さんが、市美術館が所蔵する江戸時代の鳥居清倍の浮世絵をもとに制作した作品です。歌舞伎役者の団十郎が虎をやっつける舞台上のシーンを描いた清倍の作品とは違って、ここでは団十郎が虎を強く抱き止めるように描かれています。



福田美蘭「二代目市川團十郎の虎退治」2020年



鳥居清倍「二代目市川團十郎の虎退治」1713年市美術館蔵

実はこの作品には、新型コロナウイルス感染拡大の収束を願うイメージが重ねられています。作家自身の言葉によれば、このウイルスに対して、「撲滅ではなく、共生、共存を目指すという新たな世界のヴィジョン」が、このような姿で表されたのです。

福田さんは、今を生きる作家として、現代社会と無関係にはいたれないと言います。今回の展覧会では、市美術館の所蔵作品が、作家によって我々の予想を越えた図に展開され、自らのコメントとともに展示されます。



田辺学芸員

「福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧」にて展示中(～12月19日(日))。ぜひ、ご覧ください!

現代美術は少し難解だなと思われる方、またどちらかといえば古美術ファンの方も、共に美術の見方に新たな視点を加えるユニークな福田作品をお楽しみください。

問市美術館 ☎221-2311 FAX221-2316

# 動物公園日誌

## 日直 ゲン (ヒワコンゴウインコ)

やあ、ぼくの名前はゲン、よろしくね。あ、ぼくたちコンゴウインコのなかまはみんな体が大きいからか、よく「オウムだ!」って言われるけど、インコだよ! 大きなくても冠羽かんうってよばれる頭からせなかに向かってピョンと生えている羽がないとインコなんだ。おぼえておいてね。



ふだんはメスのロクと止まり木の上を歩いたり、吊り橋を散歩したりしているよ、ぼくたちはなかよしだからいつもいっしょさ!

問動物公園 ☎252-1111 FAX255-7116

もしはなればなれになっても、こんなにあざやかな色をしているから、きっとすぐに見つけられるさ! それにイヌにまけないくらい大きな声だって出せるしね。ぼくのなかまたちのすむ森は昼でもうすぐらいほど木が生いしげっているけど、このすがたと声でなかまがどこにいるかわかるんだ。

そうだ、みんなは好きな食べ物ある? ぼくの好きな食べ物は、らっかせい! 足でおさえながら、皮をむいて中身を食べるよ。きょうでしょ? そうそう、こないだ、しいくいんさんがブルーベリーをくれたんだ! ひとつづつ口にくわえて上を向いてつぶすと、果汁がでてきておいしかったよ。みんなも食べてみてね!

